

2019年度 京都市立芸術大学大学院美術研究科 修士課程入学試験（美術史）

- I. 以下に図版を挙げた①～④の作品のうち2点を選び、可能であれば作者名や制作された時代も明記したうえで、美術史上の位置づけ、ならびに表現上、造形上の特徴について論述しなさい。
(各10点、20点)

(実際の図版は、著作権法上の関係で、掲載していません。)

ティツィアーノ・ヴェチェリオ
《ダナエ》
ナポリ、カポディモンテ美術館

①

カラヴァッジョ
《マタイの召し出し》
ローマ、サン・ルイジ・デイ・フランチェージ教会
コンタレッリ礼拝堂

②

ジャン・オノレ・フラゴナール
《ぶらんこ》
ワシントン、ナショナル・ギャラリー

③

フラ・アンジェリコ
《受胎告知》
フィレンツェ、サン・マルコ修道院

④

- II. 次に挙げる美術史上の様式・時代区分を時代順に並べ直し、それぞれの特徴を説明することで、近代にいたる前の西洋美術史の流れを述べなさい。その方が論じやすい場合は、間に挟まるより詳細な時代区分を付加してもよい。

(30点)

- A. ロマネスク B. ロココ C. 古代ローマ美術 D. 古代ギリシャ美術
E. 盛期ルネサンス F. 初期ルネサンス G. ゴシック H. バロック

- III. (1) で挙げた芸術家を、それに対応する (2) の用語と結びつけて、番号とアルファベットで答えなさい。(各2点、20点)

- (1) ① ジョルジュ・スーラ
② ジョルジュ・ブラック
③ ゲオルグ・バゼリツ
④ アルフォンス・ミュシャ
⑤ ジャコモ・バッラ
⑥ ルネ・マグリット
⑦ ジャン・フォートリエ
⑧ アレクサンドル・ロトチェンコ
⑨ ブリジット・ライリー
⑩ マリオ・メルツ

- (2) a アルテ・ポーヴェラ
b シュルレアリスム
c タシスム
d 新表現主義
e 点描主義
f アール・ヌーヴォー
g 未来派
h オプ・アート
i キュビスム
j 構成主義

- IV. 以下の設問に簡潔に答えなさい。(各15点、計30点)

1. 1950年代半ばにアメリカ大衆文化の影響のもとに誕生し、1960年代のアメリカで全盛期を迎えた、大量生産、大量消費社会をテーマとする芸術分野は何ですか。その名称と主な特質について、具体例を挙げながら論じなさい。
2. 1960年代から1970年代にかけて最盛期を迎えた前衛的な芸術運動「コンセプチュアル・アート」について、その特色を具体例を挙げながら論じなさい。